

## コントロール①

メーカー	商品名	対象項目	由来	形態	保存方法	調整方法	製造後有効期	調整後有効期	注意事項	包装容量	定価
デンカ生研 (株)	生研リキッド ノーマル プラス	生化学項目 CRP	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	流水にて融解後、冷暗所に(2～8℃)に30分以上静置。使用前に緩やかに転倒混和。	2年	5日間		1mlX30	13,500
	生研リキッド アブノーマル プラス	生化学項目 CRP	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	流水にて融解後、冷暗所に(2～8℃)に30分以上静置。使用前に緩やかに転倒混和。	2年	5日間		1mlX30	13,500
	生研リキッド ノーマル プラス	生化学項目 CRP	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	流水にて融解後、冷暗所に(2～8℃)に30分以上静置。使用前に緩やかに転倒混和。	2年	5日間		5mlX20	30,000
	生研リキッド アブノーマル プラス	生化学項目 CRP	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	流水にて融解後、冷暗所に(2～8℃)に30分以上静置。使用前に緩やかに転倒混和。	2年	5日間		5mlX20	30,000
	イムノ キューセラ I-(H)	CRP	ヒト血清	凍結乾燥品	2～10℃	3mlの精製水を加え、冷暗所に(2～8℃)に20分間静置後、緩やかに転倒混和。	2年	14日間		3ml用X5	30,000
	イムノ キューセラ I-(L)	CRP	ヒト血清	凍結乾燥品	2～10℃	3mlの精製水を加え、冷暗所に(2～8℃)に20分間静置後、緩やかに転倒混和。	2年	14日間		3ml用X5	30,000
(株)三菱化学 ヤトロン	酵素コントロール 1・2「ヤトロン」	酵素7項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	常温で30分放置して融解、融解確認後、10回以上転倒混和し120分放置後使用		当日限り		2mlX3×2	13,500
	イアトロセラ CC-I	生化学項目	ブタ臓器	凍結乾燥品	冷暗所	室温に戻し、25℃の精製水で溶解後、静かに転倒混和、30分以上放置後使用	4年	項目による		5mlX10	15,000
	イアトロセラ CC-I	生化学項目	ブタ臓器	凍結乾燥品	冷暗所	室温に戻し、25℃の精製水で溶解後、静かに転倒混和、30分以上放置後使用	4年	項目による		5mlX10	15,000
	イアトロセラ I M-I	CRP	ヒト血清	凍結乾燥品	冷暗所	精製水で溶解後、静かに転倒混和、60分以上放置後使用	3年	1週間		2mlX4	18,400
	イアトロセラ I M-II	CRP	ヒト血清	凍結乾燥品	冷暗所	精製水で溶解後、静かに転倒混和、60分以上放置後使用	3年	1週間		2mlX4	18,400

ロシュ ダイアグノスティックス (株)	プレチパス U(異常域)	AST	ヒト血清+ブタ心	凍結乾燥品	2~8℃	5mlの精製水で溶解後、静かに転倒混和し30分以上放置後使用	外箱表示の期限まで	4℃で5日間		4×5ml	7,200
		ALT	ヒト血清+ブタ心	凍結乾燥品	2~8℃					20×5ml	34,200
		LDH	ヒト血清+ブタ心	凍結乾燥品	2~8℃						
		ALP	ヒト血清+ヒト胎盤	凍結乾燥品	2~8℃						
		CK	ヒト血清+ウサギ筋	凍結乾燥品	2~8℃						
		G-GT	ヒト血清+ブタ心	凍結乾燥品	2~8℃						
		Ca	ヒト血清	凍結乾燥品	2~8℃						
		BUN	ヒト血清	凍結乾燥品	2~8℃						
		CRE	ヒト血清	凍結乾燥品	2~8℃						
		UA	ヒト血清	凍結乾燥品	2~8℃						
TC	ヒト血清	凍結乾燥品	2~8℃								
プレチノルム プロテ	CRP	ヒト血清	液状	2~8℃	使用直前に静かに転倒混和	外箱表示の期限まで	2~8℃で1ヶ月		3×1ml	31,100	
	プレチパス プロテイン	CRP	ヒト血清	液状	2~8℃	使用直前に静かに転倒混和	外箱表示の期限まで	2~8℃で1ヶ月	3×1ml	31,100	
協和メディックス(株)	デタナー酵素コントロール	酵素項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	本品を使用前に常温(15~25℃)に放置(約30分)し、融解させてゆるやかに10回以上転倒混和し、さらに120分常温に放置してから使用	使用期限まで	当日限り	2ml×3×2濃度	13,500	
シスメックス(株)	QAPTロール1 X2X	生化学項目	ヒト血清	液状凍結品	-20℃以下	室温で30分放置、融解後静かに転倒混和、冷暗所(4~6℃)に30分放置後使用	36ヵ月	7日間		5ml×6	15,500
	デ-タートロール Lレベル1	生化学項目	ヒト血清	液状凍結品	-20℃以下	室温で30分放置、融解後静かに転倒混和、冷暗所(4~6℃)に30分放置後使用	36ヵ月	7日間		5ml×6	10,000
	デ-タートロール Lレベル2	生化学項目	ヒト血清	液状凍結品	-20℃以下	室温で30分放置、融解後静かに転倒混和、冷暗所(4~6℃)に30分放置後使用	36ヵ月	7日間		5ml分×10	10,000
	エム・トロール・1	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	2~8℃	精製水にて溶解、静かに転倒混和し使用	24ヵ月	3日間		5ml分×10	18,000
	エム・トロール・2	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	2~8℃	精製水にて溶解、静かに転倒混和し使用	24ヵ月	3日間		2ml×3×2	18,000
	酵素コントロール1・2「コクサイ」	生化学項目	ヒト血清	液状凍結品	-20℃以下	室温で30分放置、融解後10回以上転倒混和、120分常温に放置後使用	12ヵ月	当日中		5ml×5×2	13,500

メーカー	商品名	対象項目	由来	形態	保存方法	調整方法	製造後有効期	調整後有効期	注意事項	包装容量	定価
第一化学 薬品(株)	酵素コントロール1・2「第一」	酵素項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	常温(15~25℃)に放置(約30分)し融解し、融解を確認後ゆるやかに10回以上転倒混和し、更に120分放置後使用。または使用前日に冷蔵庫に放置し融解。翌朝融解を確認後、ゆるやかに10回以上転倒混和し、更に60分常温放置後使用。	1年	当日限り		2ml×3×2 濃度	13,500
	セロノルム	生化学項目	ウマ血清	凍結乾燥品	2~10℃	正確に精製水5mlを加え、完全に溶解するまで放置。	5年	-20℃で1ヶ月		5ml×10	18,000
	パソノルムH	生化学項目	ウマ血清	凍結乾燥品	2~10℃	正確に精製水5mlを加え、完全に溶解するまで放置。	5年	-20℃で1ヶ月		5ml×10	18,000
	パソノルムL	生化学項目	ウマ血清	凍結乾燥品	2~10℃	正確に精製水5mlを加え、完全に溶解するまで放置。	5年	-20℃で1ヶ月		5ml×10	18,000
(株)エイア ンドティー	イムノティクルス オートコントロール 血清(H)	CRP	ヒト血清	1ml×5	凍結品	2~10℃	1mlの精製水 で溶解後、静 かに転倒混 和、15分以上	2年	1週間		25,000
	イムノティクルス オートコントロール 血清(L)	CRP	ヒト血清	1ml×5	凍結品	2~10℃	1mlの精製水 で溶解後、静 かに転倒混 和、15分以上	2年	1週間		25,000

栄研化学 (株)	酵素コントロール1・2	ALP/CK/AST ALT/γ-GTP/LDH	AST→ブタ心臓、 ALT→ブタ心臓 LD→ニトリ心臓、 ALP→ウシ腸 CK→ブタ心臓	凍結乾燥品	液状凍結品	-20℃以下		1年	1日(当日中)	3ml×5	7,500
	リビットセラム I (脂質測定用コントロール)	脂質検査	ヒト血清	液状凍結品	2~10℃	ホールピペットで精製水3mlにて溶解後、静かに転倒混和し 30分放置後使用	1年	1週間		3ml×5	5,500
	TRIPLE CHECK level I	生化学項目	ヒト血清	液状凍結品	-10℃以下		2年	1週間		3ml×24	21,600
	TRIPLE CHECK level II	生化学項目	ヒト血清	液状凍結品	-10℃以下		2年	1週間		3ml×24	21,600
	TRIPLE CHECK level III	生化学項目	ヒト血清	液状	-10℃以下		2年	1週間		3ml×24	21,600
	イムノピリア 1	生化/免疫項目		液状	2~8℃	そのまま使用				3ml×2	28,500
	イムノピリア 2	生化/免疫項目		液状	2~8℃	そのまま使用				3ml×2	28,500
三光純薬 (株)	EXA Liquid3 normal	生化学項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	20~25℃の室温で、ローター等を使用して15分間緩やかに回転させながら融解	2年	5日間		3mlX25	22,500
	EXA Liquid3 abnormal	生化学項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	20~25℃の室温で、ローター等を使用して15分間緩やかに回転させながら融解	2年	5日間		3mlX25	24,000
	酵素コントロール1・2	酵素7項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	本品を使用前に常温(15℃~25℃)に放置(約30分)し、融解させて下さい。融解を確認後ゆるやかに10回以上転倒混和し、更に120分常温に放置してからご使用下さい。	1年	1日間		(2mlX3)×2	13,500

日水製薬 (株)	スイトロー ルN1号	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	冷所(2~1 0℃)	蒸留水を加え約20分間室温 に放置、ゆるやかに転倒混和 し溶解。振ってはいけない	2年	7日間	各成分の分 析値と測定 法表示	5ml用X6	6,000
										5ml用X20	18,000
	スイトロー ルN2号	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	冷所(2~1 0℃)	蒸留水を加え約20分間室温 に放置、ゆるやかに転倒混和 し溶解。振ってはいけない	2年	7日間	各成分の分 析値と測定 法表示	5ml用X6	9,000
										5ml用X20	27,000
	L-スイト ロール I	生化学・免 疫	ヒト血清	凍結品	-40℃以 下(-80℃ が望まし い)	流水中で溶解した後室温にも どし、ゆるやかに転倒混和す る。		1日間	ERM、 NIST、 HECTEF、 CRM470	3mlX6	13,500
										3mlX40	28,000
	L-スイト ロール II	生化学・免 疫	ヒト血清	凍結品	-40℃以 下(-80℃ が望まし い)	流水中で溶解した後室温にも どし、ゆるやかに転倒混和す る。		1日間	ERM、 NIST、 HECTEF、 CRM470	3mlX6	17,500
										3mlX40	48,000
	L-トライ ロール(3濃 度)	生化学・免 疫	ヒト血清	凍結品	-40℃以 下(-80℃ が望まし い)	流水中で溶解した後室温にも どし、ゆるやかに転倒混和す る。		1日間	ERM、 NIST、 HECTEF、	3濃度各3 mlX2	16,000

## コントロール⑥

メーカー	商品名	対象項目	由来	形態	保存方法	調整方法	製造後有効期	調整後有効期	注意事項	包装容量	定価
(株)アズウェル	液状ネス コールN	生化学項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	使用当日、流水で融解後、転倒混和し使用して下さい	2年	7日間		5mlX10	14,000
	セラクリア HE	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	10℃以下	3mlの精製水で溶解後、静かに転倒混和、10分放置後使用			ALPは4時間以内に測定	5mlX10	26,000
ニッポー(株)	イムノクエ スト L-Ⅰ	CRP	ヒト血清	液状	2~10℃	液状のためそのままご使用下さい。	1年	開封後2~10℃で4週間		2mlX6	15,600
	イムノクエ スト L-Ⅱ	CRP	ヒト血清	液状	2~10℃	液状のためそのままご使用下さい。	1年	開封後2~10℃で4週間		2mlX6	18,000
(株)オリンパス	AUコントロール レベルⅠ	生化学項目	動物由来	凍結乾燥品	2~8℃	冷蔵で30分放置、溶解後、静かに転倒混和後使用	1年	3日間		5mlX6	8,000
	AUコントロール レベルⅡ	生化学項目	動物由来	凍結乾燥品	2~8℃	冷蔵で30分放置、溶解後、静かに転倒混和後使用				5mlX6	
バイエルメ ディカル (株)	Lyphocheck level 1	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	冷蔵(2~8℃)	5mlの精製水を加え20分間放置後解後、静かに混和した後検体と同様に使用	外箱に記載	7日間	ACP、ALPは3日間	5mlX12	21,000
	Lyphocheck level 2	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	冷蔵(2~8℃)	5mlの精製水を加え20分間放置後解後、静かに混和した後検体と同様に使用	外箱に記載	7日間	ACP、ALPは3日間	5mlX12	21,000
(株)ミズホメ ディー	ケムトラック L1	生化学項目	ウシ血清	凍結品	-20℃以下	冷蔵庫内で融解してください。急ぐときは、流水にて融解してください	18ヶ月	冷蔵保存で14日間	再凍結不可	15mlX10	33,000
	ケムトラック L3	生化学項目	ウシ血清	凍結品	-20℃以下					15mlX10	37,000
	リキウム コントロール L1	免疫項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下					5mlX6	40,000
	リキウム コントロール L2	免疫項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下	室温で融解してください。	36ヶ月	冷蔵保存で30日間	再凍結不可	5mlX6	40,000
	リキウム コントロール L3	免疫項目	ヒト血清	凍結品	-20℃以下					5mlX6	40,000

極東製薬工業(株)	EXA Liquid 3 normal	生化学項目、CRP	ヒト血清	液状凍結品	-20℃以下	20~25℃の室温でローター等を使用して15分間穏やかに回転させながら融解して使用	2年	5日以内		3ml×25	22,500
	EXA Liquid 3 abnormal	生化学項目、CRP	ヒト血清	液状凍結品	-20℃以下	20~25℃の室温でローター等を使用して15分間穏やかに回転させながら融解して使用	2年	5日以内		3ml×25	24,000
	EXA IM-N	免疫項目	ヒト血清	液状凍結品	-20℃以下	室温に戻し(前日に冷凍から冷蔵に移す)4~5回ゆるやかに転倒混和後使用	3年			2ml×4	21,000
	EXA IM-A	免疫項目	ヒト血清	液状凍結品	-20℃以下	室温に戻し(前日に冷凍から冷蔵に移す)4~5回ゆるやかに転倒混和後使用	3年			2ml×4	28,000
(株)シノテスト	AaltoControl CRP II	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	2~8℃	本品1瓶に2~8℃の精製水5.0mlを性格に加え、そのまま15分~20分間放置した後、静かに店頭混和して完全に溶解します。 溶解後2~8℃で48時間(但し、ビリルビンは24時間)安定です。	3年	48時間		5ml×1	2,000
										5ml×10	20,000
	AaltoControl LIPID II	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	2~8℃	本品1瓶に2~8℃の精製水5.0mlを性格に加え、そのまま15分~20分間放置した後、静かに店頭混和して完全に溶解します。 溶解後2~8℃で48時間(但し、ビリルビンは24時間)安定です。	3年	48時間		5ml×1	1,800
										5ml×10	18,000

メーカー	商品名	対象項目	由来	形態	保存方法	調整方法	製造後有効期	調整後有効期	注意事項	包装容量	定価
関東化学(株)	トレースチェック	酵素項目	ヒトリコンピナント、ヒト赤血球、ヒト尿	凍結品	-30~-20℃	冷蔵庫などで穏やかに溶解後、転倒混和し、均一にします。溶解、開封後は直ちにご使用ください。	1年		開封後は直ちにご使用ください。	2ml×3×(2濃度)	21,000
	クオリトロールリファレンスPLUS	生化学項目	ヒト血清ベース	凍結品	-18~-13℃	冷蔵庫などで穏やかに溶解後、転倒混和し、均一にします。2~8℃で2週間安定です。	1年	2週間	-20℃以下での保存厳禁(内容成分へのダメージ)	3ml×3×(2濃度)	17,000
和光純薬工業(株)	液状コントロール血清Iワコー	生化学項目	ヒト・動物	凍結品	-20℃以下	使用前日に2~8℃の冷蔵庫内に放置するか、少なくとも使用1時間前に常温に戻して自然融解後、よく混和。	2年	2~8℃保存で5日間(NEFAを除く)		5ml×10	14,000
	液状コントロール血清IIワコー	生化学項目	ヒト・動物	凍結品	-20℃以下		2年			5ml×10	14,000
	コントロール血清IワコーB	生化学項目	ヒト・動物	凍結乾燥品	2~10℃	10℃以下の蒸留水またはイオン交換水5mlを加えて軽く振り混ぜ完全に溶解	2年	2~8℃保存で5日間(NEFAを除く)		5ml×10	13,000
	コントロール血清IIワコーB	生化学項目	ヒト・動物	凍結乾燥品	2~10℃		2年			5ml×10	13,000
	免疫コントロールワコーI	免疫項目	ヒト血清	溶液	2~10℃		15ヶ月			2ml×4	28,000
	免疫コントロールワコーII	免疫項目	ヒト血清	溶液	2~10℃		15ヶ月			2ml×4	28,000



ベックマン・ コールター (株)	シンクロンコ ントロール	Ca	ヒト血清	液状	-15~-20℃	使用時室温にもどして使用	2年	2-8℃で20日間		20mL×2本 ×3レベル	35,000
		BUN	ヒト血清	液状	-15~-20℃	使用時室温にもどして使用	2年	2-8℃で20日間		20mL×2本 ×3レベル	35,000
		CRE	ヒト血清	液状	-15~-20℃	使用時室温にもどして使用	2年	2-8℃で20日間		20mL×2本 ×3レベル	35,000
		UA	ヒト血清	液状	-15~-20℃	使用時室温にもどして使用	2年	2-8℃で20日間		20mL×2本 ×3レベル	35,000
		TC	ヒト血清	液状	-15~-20℃	使用時室温にもどして使用	2年	2-8℃で20日間		20mL×2本 ×3レベル	35,000
	ビジルセロ ジ-コントロール レベル1	CRP	ヒト血清	液状	2~8℃	使用時室温にもどして使用	2年	2-8℃で有効期 限まで		5ml×5本	53,000
	ビジルセロ ジ-コントロール レベル2		ヒト血清	液状	2~8℃	使用時室温にもどして使用	2年	2-8℃で有効期 限まで		5ml×5本	53,000
	ビジルセロ ジ-コントロール レベル3		ヒト血清	液状	2~8℃	使用時室温にもどして使用	2年	2-8℃で有効期 限まで		5ml×5本	53,000
	ビジルセロ ジ-コントロール レベルC	CRP(低濃 度)	ヒト血清	液状	2~8℃	使用時室温にもどして使用	2年	2-8℃で有効期 限まで		5ml×5本	53,000
オーソ (株)	パフォーマンス ペリファイアー I, II	AST,ALT,L DH,ALP,CK, GGT,Ca,Tc	ヒト血清	凍結乾燥品	-18℃以下	専用溶解液 3mlにて溶 解,30分静置後	2年	1週間		3ml×24	19,000
	CRPパフォー マンスペリファイ	CRP	ヒト血清	液状	-18℃以下	室温にて融解	1年	1週間		1ml×6	18,000
アークレイ (株)	スポットケムキャ リブレーション チェック	スポットケム専 用	ヒト血清	凍結乾燥品	-18℃以 下	室温で20分放置、溶解、20分 放置後、静かに転倒混和して 溶解	1年	6時間		3ml×4	8,000
	スポットケムIM コントロール CRP	CRP	ヒト血清	凍結乾燥品	冷蔵保存	室温に戻してから専用溶解液 にて溶解	1年	1週間(2~ 8℃)		0.5ml×各2	27,000
富士フィル ム(株)	富士ドライ ケムコント ロールQP	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	-20℃以 下	室温30分放置後、精製水3m l添加し30分放置後転倒混和 し使用	3年	項目による		3ml×6	10,800
	富士ドライ ケムコント ロールQP	生化学項目	ヒト血清	凍結乾燥品	-20℃以 下	室温30分放置後、精製水3m l添加し30分放置後転倒混和 し使用	3年	項目による		3ml×6	10,800